

令和5年度 ひと・まち交流館 京都の共用部分の管理に関する

事業報告

1 概説

ひと・まち交流館京都は、市民の方々が自主的に行う、福祉、ボランティアをはじめとした公益的活動を支えるため、会議、情報交流等に活用できる大小の会議室を有し、開館以来、本年で20周年を迎え、多くの方々に利用されてきました。

京都市の指定管理者として託されている共用部分の管理運営では、会議室の貸出業務や設備の保守管理だけでなく、地域住民との連携等、本会の強みを活かし、京都市が求めている取組、運営を適切に行えるような体制づくりを行っています。

また、市民目線に立った公平公正なサービスの提供に努めており、来館者数は、少しずつではありますが、コロナ禍前に戻りつつあります。

一方、地球環境の変化に伴い、近年大規模な災害が多発していることから、本会としても、これまで実施してきた環境負荷軽減の取組を一層促進するとともに、本施設が地域の避難所として、その役割をしっかりと果たせるように取り組んでいます。

本会では、平成12年7月から児童厚生施設として桂坂野鳥遊園を運営し、その管理運営についてはNPO法人和の学校に委託し、子ども達に豊かな自然環境を活かした体験講座等を実施するとともに、市民の方々に対して野鳥観察の機会を提供しています。

2 成果と課題

(1) 効果的、効率的な施設運営管理

施設の運営管理に当たっては、行政、関係団体、委託業者等との情報共有、連携強化により、コロナ禍以降の対応を含め、起こる課題等に迅速かつ的確に対応し、効果的、効率的な施設運営に努めてきています。

しかし、会議室の利用率については、令和2年度から続いたコロナ禍による利用団体の開催見送りや、令和4年6月からの一般会議室の有料化により、コロナ禍前に比べ、15%近く、低下している実態があります。

そうした中、4センターを含む当館のホームページの更新、令和6年度から運用開始を予定している会議室予約システムの開発及び関連する基準等の作成に取り組むと共に、開館以来、本会がずっと本館施設の管理運営を受託してきたことから、20周年記念講演会を開催しています。

一方、老朽化している施設、設備管理については、設備管理業者との緊密な情報共有等による故障取替部品の確保等を行い、効果的、効率的な維持管理に努めてきましたが、開館から20年が経ち、大規模な設備更新が必要であることから、長期的な視点での施設のあり様を検討していく必要があります。

(2) 災害時に備えた施設運営の検討

毎年のように、各地で自然災害が発生し、近年では、これまでに経験したことがない規模の災害が発生しており、更なる災害対策が求められています。特に、当館は、菊浜学区の避難所に指定されていることから、菊浜連合会と連携し、避難所運営のあり方について検討してきました。

また、当館は、京都市災害ボランティアセンターにも位置付けられていることから、活用形態について、時間軸を踏まえたより実践的なシミュレーションを行っていく必要があります。

(3) 環境負荷軽減に向けた取組の推進

本会では、平成19年度に、京都市における環境負荷の管理・低減規格であるKESステップ1を認証取得して以来、平成24年度にはステップ2を認証取得し、令和3年度からは、本会としての特色を生かした環境負荷低減の取組を行うことで、職員の環境に対する意識は高まっています。

コロナ禍以降も、実施を見送らざるを得なかった活動も一部ありましたが、館全体で節電や啓発活動に取り組んでおり、全般的には、しっかりと環境負荷低減の取組を進めることができました。

また、令和6年度の更新審査に向け、職員が、より主体的に活動できるよう、所属の事業を環境改善目標となるように取り組んできており、更なる職員の意識向上に期待しています。

3 事業内容

(1) 会議室等の貸出・管理

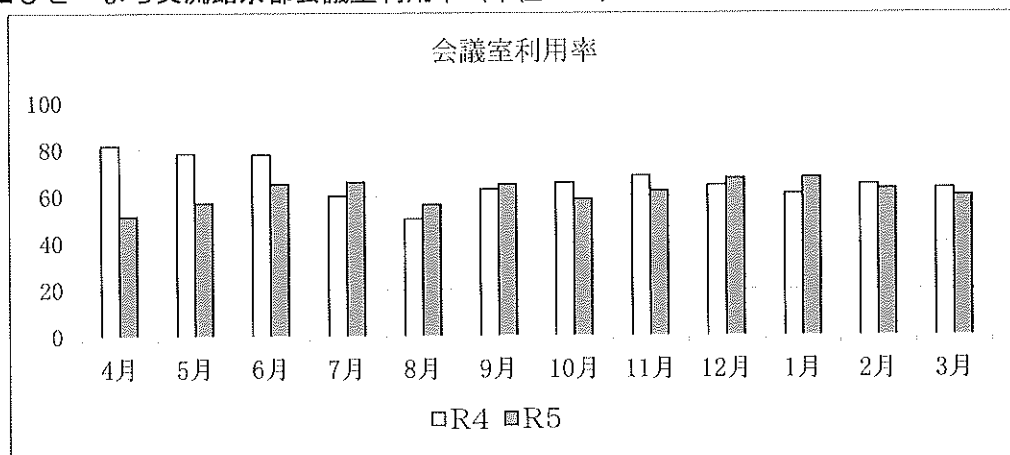
ア 会議室貸出予約抽選会の実施(12回)

イ 4センター設置条例に基づく会議室貸出及び相談の実施

ウ 利用実績

月	来館者数(人)			会議室利用率(大会議室除く、%)		
	R5	R4	増△減	R5	R4	増△減
4月	18,127	15,123	3,004	51.4	81.6	△30.2
5月	19,931	14,257	5,674	57.0	78.3	△21.3
6月	19,913	15,494	4,419	65.2	77.8	△12.6
7月	21,038	18,918	2,120	66.0	60.2	5.8
8月	17,548	16,765	783	56.5	50.3	6.2
9月	19,059	17,969	1,090	64.9	62.9	2.0
10月	19,066	19,513	△447	58.7	65.7	△7.0
11月	18,580	20,261	△1,681	62.1	68.6	△6.5
12月	16,404	16,570	△166	67.4	64.6	2.8
1月	16,994	15,802	1,192	67.8	61.0	6.8
2月	17,327	16,852	475	63.1	64.9	△1.8
3月	19,775	20,082	△307	60.0	63.2	△3.2
合計・平均	223,762	207,606	16,156	61.7	66.6	△4.9

■ひと・まち交流館京都会議室利用率(単位：%)



(2) 安心・安全・快適な利用の促進

- ア 施設設備の日常的・定期的点検及び修繕の実施
- イ 会議室予約システム開発
- ウ 業務委託業者との定期ミーティング(24回)及び研修(12回)の実施
- エ 案内モニターの更新(12回)
- オ 関係機関との連携

(3) 環境負荷軽減の取組の推進

- ア KESステップ2における持続可能な取組の実施
- イ 環境委員会(12回)及び環境マネジメント担当者会議の開催(12回)
- ウ 交流館内各センター・団体と連携した環境負荷軽減の取組の実施(24回)
- エ 交流館内各センター・団体による周辺の一斉清掃の実施(12回)

(4) 防災・防火活動の推進

- ア 交流館全体での火災対策訓練の実施(2回)

(5) 館内各センター・団体との連携・促進

- ア 共同管理委員会の開催(12回)
- イ 交流館内各センター・団体との連絡調整

(6) 地域との連携促進(菊浜学区)

- ・ 防犯パトロールへの参加
- ・ 避難所設置時の協議
- ・ 防災訓練への参加

法人名	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
法人名	社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
会計区分名	ひと・まち交流館京都管理事業

資金収支計算書

(自 令和 5年 4月 1日 至 令和 6年 3月31日)

(単位：円) 1頁

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	受託金収入	168,295,000	168,294,400	600	
	市受託金収入	168,295,000	168,294,400	600	
	その他の収入		30,000	△30,000	
	雑収入		30,000	△30,000	
	事業活動収入計(1)	168,295,000	168,324,400	△29,400	
	支出				
	人件費支出	32,889,000	31,054,415	1,834,585	
	職員給料支出	24,099,000	22,268,720	1,830,280	
	職員賞与支出	4,310,000	4,309,344	656	
	法定福利費支出	4,480,000	4,476,351	3,649	
	事業費支出	133,807,000	117,589,968	16,217,032	
	諸謝金支出	50,000	44,548	5,452	
	消耗器具備品費支出	970,000	48,180	921,820	
	印刷製本費支出	10,000	2,646	7,354	
	光熱水費支出	16,538,000	11,801,308	4,736,692	
	修繕費支出	9,000,000	4,731,826	4,268,174	
	通信運搬費支出	2,113,000	1,863,901	249,099	
	業務委託費支出	105,016,000	99,027,009	5,988,991	
	保険料支出	100,000	70,550	29,450	
雑支出	10,000		10,000		
事務費支出	11,868,000	11,525,138	342,862		
福利厚生費支出	155,000	78,103	76,897		
旅費交通費支出	15,000	7,550	7,450		
研修研究費支出	142,000	135,300	6,700		
事務消耗品費支出	1,283,000	1,252,990	30,010		
印刷製本費支出	480,000	371,250	108,750		
修繕費支出	100,000	84,755	15,245		
通信運搬費支出	25,000	15,836	9,164		
業務委託費支出	6,458,000	6,457,598	402		
賃借料支出	1,401,000	1,322,827	78,173		
租税公課支出	1,799,000	1,798,929	71		
雑支出	10,000		10,000		
事業活動支出計(2)	178,564,000	160,169,521	18,394,479		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△10,269,000	8,154,879	△18,423,879		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
施設整備等支出計(5)					
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)					
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	10,769,000		10,769,000	
	備品等更新積立資産取崩収入	2,100,000		2,100,000	
	修繕積立資産取崩収入	8,669,000		8,669,000	
	その他の活動収入計(7)	10,769,000		10,769,000	
	支出				
	積立資産支出		7,650,000	△7,650,000	
	備品等更新積立資産支出		2,650,000	△2,650,000	
	修繕積立資産支出		5,000,000	△5,000,000	
	拠点区分間繰入金支出	500,000	500,000		
拠点区分間繰入金支出	500,000	500,000			
その他の活動支出計(8)	500,000	8,150,000	△7,650,000		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	10,269,000	△8,150,000	18,419,000		
予備費支出(10)					
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		4,879	△4,879		
前期末支払資金残高(12)	11,362,000	11,362,636	△636		
当期末支払資金残高(11)+(12)	11,362,000	11,367,515	△5,515		